

一年 くじらぐも

① (光村・十月)

指導計画

⑦	⑥	⑤	④	③	②	①
音読	山を読む					概観
想像した会話を加えて、好きな場面を読む。	(7)「では、かえろう。」	(6)「さあ、およぐぞ。」	(5)「もつとたかく。」	(4)「こいへおいでよう。」	(2)「たいそう」	あらすじをとらえる

第一時(概観)

初めに 各段落の始まりに番号を付ける
挿絵にも番号を付ける。

〈区分〉

1. 四じかんめ、
2. 「一、二、三、四、
3. 「まわれみぎ。」
4. みんなは、大きな
5. みんなは、手を
6. 「さあ、およぐぞ。」
7. 「おや、もう、おひるだ。」
8. 「さようなら。」

一 よむ (8人) 座席順に指名する。

二 とく

(題を板書する。)

- ・ 何という題ですか。 くじらぐも
- ・ くじらぐもを二つの言葉に分けます。 何と何。

くじら と くも

- ・ 空に浮かんでいる雲の名前がくじらぐも。
- ・ くじらぐもの大きさは。

- ・ 色は。 大きい
- しろい

まっしろい

- ・ 白いと比べると、まっしろいは。 とってもしろい

- ・ 真っ白い大きな雲、それがくじらぐもでした。
- ・ くじらぐもと仲良しになったのは、だれ。

一年二組のこどもたち

先生

- ・ 一ねんこくみの子供たちと先生が、くじらぐもと
- なかよく、色々な事をしたお話です。

〈てびき〉

1〜8まで、くじらぐもがした事、
話した事をさがしましょう。

- 三. よむ
- 四. かく

- 1〜4位まで、子ども達と相談しながら板書する。
- 5は自分で探させる。

：ノートの書き方を机間巡視して、指導。

1.	あらわれた
2.	たいそう
3.	まわれみぎ
4.	「こいへおいでよう。」
5.	「もつとたかく。」
6.	「さあ、およぐぞ。」
7.	「では、かえろう。」
8.	「さようなら。」

- ・ ていねいに板書してから、机間巡視をし、ノート
- 指導。大きな字・真面目な字・姿勢等を褒めながら、
- ノートの書き方を、教える。

・黒板を見て、勉強します。ノートをしまいましょう。ノートが途中の人も、しまいましょう。

五. よむ

(黒板を指示棒で示して、全員で読む。)

- ・指黙読…黙読する。
- ・指音読…音読する。

六. とく 詳しく読み込む

〈語義〉 分からない言葉はありますか？

- ・あらわれた まわれみぎ ・もっとたかく

〈区分〉

・くじらぐもと皆が、仲良く一緒にしているところは、何番から、何番。

(4〜8に 黄子ヨークで横括弧)

4. ここへおいでよう
5. もっとたかく
6. さあ、およぐぞ
7. では、かえろう
8. さようなら

・1から3は、子ども達と一緒に仲良くしてはいない。くじらぐもは、なにしているの。

- たいそう
- かけあし
- まわれみぎ

・くじらぐもが、たいそうや、かけあしや、まわれみぎをしているのは、誰の真似。

一年二組の子供たちの真似。

- ・一年二組の子供たちは、何の時間。
たいいく

・一年二組の子供たちの体育の真似をしていたのですね。

(1〜3に、黄子ヨークで横括弧)

七. よむ 読んで終わりにしましょう。
指音読

〈板書事項〉							
1.	あらわれた						
2.	たいそう						
3.	まわれみぎ						
4.	「ここへおいでよう。」						
5.	「もっとたかく もっとたかく。」						
6.	「さあ、およぐぞ。」						
7.	「では、かえろう。」						
8.	「さようなら。」						

一年 くじらぐも

(光村・十月)

②

第二次 第1時 (山を詳しく読む)

一・読む (8人)
前時の続きの子から座席順に指名する。

二・解く

(前時の概観を、黒板右に板書し、思い起こさせる)

・くじらぐもが現れたのは、何時間目。

四時間目

・何処に

空に

・空にくじらぐもが現れた時にいたのは、だれ。

一年二組の子供達。

・何の時間。

体育の時間。

・体育の時間に空に現れたくじらぐもが、何かを始めた。
めました。

へてびきく

・くじらぐもが、始めたことを書きましよう。

三・よむ

四・かく

机間巡視。ノートに指示通り掛けているか見て回る。

その後、机間巡視をして、子どもたちのノートを見て回る。

大きな字・真面目な字・姿勢等を褒めながら、ノートの書き方を、教える。

・黒板を見て、勉強します。ノートをしまいましょう。ノートが途中の人も、しまいましょう。

五・よむ 黒板の文を読みましよう。

・指黙読

・指音読

六・とく 詳しく読み取る

〈語義〉分からない言葉はありますか？

・しんこきゆう

・〈区分〉

・二つに分けます。

・くじらがしたこととはどこに書いてありますか。

くじらもたいそうを……から後。

・「一、二、三、四。」は、だれの言葉。

せんせい こどもたち

・くじらが始めたのは何。

たいそう

・どんな体操。

のびたり

ちぢんだり

しんこきゆうも

・体操をしているのはくじらだけ。

こどもたちも

・子供達も体操をしていることが分かる言葉

一文字で。 も (も、に赤丸)

・誰が誰の真似をしているの。

「鯨が子供たちの真似をしている。」

七・よむ

・読んで終わりにましよう。

指音読

「一、二、三、四。」
くじらもたいそうを はじめました。
のびたり ちぢんだりして、しんこきゆうも
しました。

丁寧に板書をする。

一年 くじらぐも

(光村・十月)

③

第二次 第2時 (山を詳しく読む)

一・よむむ (8人)

前時の続きの子から、座席順に指名する。

二・とく

・くじらぐもは、1年2組の子供たちの真似を色々していましたね。

・どんな真似をしましたか。

・体操

・まわる。

・とまる

・まわれみぎ

・そのうち、子ども達にゆえ始めました。

・初めに、何と答えましたか？

・「おうえい。」

・そして、子どもたちが、鯨を誘いました。

〈てびきく〉

子どもたちがくじらを誘っているところを書きましよう。

三・よむむ

四・かく

机間巡視。ノートに指示通り掛けているか見て回る。

「くじらぐも おいでよう。」

みんなが さそろうと

「くじらぐも おいでよう。」

と、くじらぐも さそいました。

「よじきた。くものくじらぐも

とびのろう。」

丁寧に板書をする。

その後、机間巡視をして、子どもたちのノートを見て回る。

大きな字・真面目な字・姿勢等を褒めながら、ノートの書き方を、教える。

・黒板を見て、勉強します。ノートをしまいましたよう。ノートが途中の人も、しまいましたよう。

五・よむむ 黒板の文を読みましよう。

・指黙読

・指音読

六・とく 詳しく読み取る

〈語義〉分からない言葉はありますか？

・さそろう ・とびのろう

〈区分〉

・文を3つに分けます。

・「くじらぐも」

・みんなが

・「よじきた」

くじらが言っている言葉は？

・「くじらぐも」

・初めの「くじらぐも おいでよう。」は、だれが言ったの。

・子どもたち

・子供達の言葉と同じ言葉を、鯨も行ったのですね。

・「よじきた」は、だれが言ったの。

・子どもたち

・子供達は、鯨に誘われて、張り切りましたね。

・何をしようとしていますか。

・くじらぐもに飛び乗ろうとしている。

・張り切っていることが分かる言葉は。

・よじきた。

七・よむむ

・読んで終わりにしましよう。

指音読

第二次 第3時 (山を詳しく読む)

一・よむ (8人)

前時の続きの子から、座席順に指名する。

二・とく

・子どもたちは何の為に、ジャンプしていますか。
・くじらに飛び乗ろうとしている。

・どんな形になって、ジャンプしていましたか。

・手をつないで丸い輪になって

・何と言って、ジャンプをしていましたか。

・「天まで届け、一、二、三。」

・ジャンプしている子たちに、鯨は応援しましたね。何とって応援しましたか。

「もっとたかく。もっとたかく。」

・初めは何センチ飛べましたか。

・三十七センチ

・次は、

・五十七センチ

・その応援の後、すごいことが起こりました。

・雲のくじらに乗った。

(つむぎ)

子どもたちが、雲のくじらに乗ったところを書きましよう。

三・よむ

四・かく

机間巡視。ノートに指示通り掛けているか見て回る。

そのときです。いきなり、
かぜが、みんなを空へ
ふきとばしました。

そして、あつというまに、
せんせいと 子どもたちは、
手をつないだまま、くもの
くじらにのっっていました。

丁寧に板書をする。

その後、机間巡視をして、子どもたちのノートを見て回る。

大きな字・真面目な字・姿勢等を褒めながら、
ノートの書き方を、教える。

・黒板を見て、勉強します。ノートをしまいましよう。ノートが途中の人も、しまいましよう。

五・よむ 黒板の文を読みましよう。

・指黙読

・指音読

六・とく 詳しく読み取る

〈語義〉分からない言葉はありますか？

・いきなり ・ふきとばす ・あつというま

〈区分〉

文を二つに分けます。

(ふきとばしました。までと、そのあと)

・雲のくじらに乗ったのは誰。

・せんせい

・子どもたち

・なにがおきたから。

・かぜがみんなをふきとばした。

・風がどのようになつたから。

・いきなりふきとばしたから。

・いきなり、ということが分かる言葉が、もう一つ。

・そのときです。

・皆はどんなふうにも、雲に乗っていたの。

・あつというまに

・皆はばらばらになつたの。

・手をつないだまま。

七・よむ

・読んで終わりにしましよう。

指音読

一年 くじらぐも

(光村・十月)

⑤

第二次 第4時 (山を詳しく読む)

一・よむ (8人)

前時の続きの子から、座席順に指名する。

二・とく

- ・皆は、ジャンプして、くじらぐもに乗りました。
- ・誰が乗ったのですか。

・せんせい

・こどもたち

・ジャンプだけでは乗れませんでした。

何が、手伝ってくれましたか。

・かぜが、いきなり吹いて

・かぜが、皆をどうしたのですか。

・吹き飛ばした。

(手引き)

・くじらぐもに乗ったあと、皆と、くじらが
どうしたのかを書きましょう。

三・よむ

四・かく

机間巡視。ノートに指示通り掛けているか見て回る。

「さあ、およぐぞ。」

くじらは、青い青い

空のなかを、

げんきいっぱい

すすんでいきました。

うみのほうへ、むらのほうへ、

まちのほうへ。

みんなは、うたを

うたいました。

ていねいに板書をする。

その後、机間巡視をして、子どもたちのノートを見て回る。

大きな字・真面目な字・姿勢等を褒めながら、ノートの書き方を、教える。

・黒板を見て、勉強します。ノートをしまいましう。ノートが途中の人も、しまいましう。

五・よむ 黒板の文を読みましう。

・指黙読 指音読

六・とく 詳しく読み取る

〈語義〉分からない言葉はありますか？

・青い青い

〈区分〉

文を二つに分けます。

・くじらのしたこと、こどもたちのしたこと。

・子どもたちは何をしましたか。

・うたをうたった。

・先生も歌った。

・せんせいもうたった。

・先生も歌ったのが分かる言葉は。

・みんなは

くじらが張り切っていることが分かる言葉は。

・さあ、およぐぞ。

・その中のどの言葉。

・さあ

・くじらが元気いっぱい進んだのが分かる言葉は。

・うみのほうへ、むらのほうへ、まちのほうへ。

・海にも村にも町にも ずいぶん張り切って進んでいったんですね。

・乗っている皆が、気持ちよさそうなのが分かることとは。

うたをうたった。

とは。

七・よむ

・読んで終わりにしましう。

指音読

指音読

一年 くじらぐも

(光村・十月)

⑥

第二次 第5時 (山を詳しく読む)

一・よむ (8人)

前時の続きの子から、座席順に指名する。

二・とく

- ・楽しく くじらぐもに乗っていた子どもたち。
- ・楽しくて、何をしましたか。

・歌を歌った。

・くじらは、空の中を張り切って、どこまで泳ぎましたか。

海・むら・まち。

・でも、いつまでもくじらぐもに乗っているわけにいきません。・帰る時が来ました。

(手引き)

・帰る時のことを書きましょう。

三・よむ

四・かく

机間巡視。ノートに指示通り書いているか見て回る。

「おや、もうおひるだ。」

せんせいが、うでどけいを

みて、おどろくと、

「では、かえろう。」

と、くじらは、まわれみぎを
しました。

しばらくいくと、がっこうの
やねが、みえてきました。

ていねいに板書をする。

その後、机間巡視をして、子どもたちのノートを
見て回る。

大きな字・真面目な字・姿勢等を褒めながら、
ノートの書き方を、教える。

・黒板を見て、勉強します。ノートをしまいましょ
う。ノートが途中の人も、しまいましょう。

五・よむ 黒板の文を読みましょう。

・指黙読 指音読

六・とく 詳しく読み取る

〈語義〉分からない言葉はありますか？

〈区分〉

文を二つに分けます。

(帰ることになった時・学校に近づいてきた時)

・学校に近づいたことが分かるのは。

・学校の屋根が見えてきた。

・もつと遠くにいたのですね、

・帰ることになったのは、何に気付いたから。

・もうおひるだ。

・誰が気づいたの。

・せんせい

・先生は、何を見て、お昼だと分かったのですか。

・腕時計

・腕時計を見て、先生はどう思いましたか。

・おどろいた。

・いつの間にか時間がたっていたのが分かる言葉は。

「おや、もうおひるだ。」

・その中のどの言葉

・おや ・もつ

・くじらが帰ることになったのが分かるのは

「では、かえろう」

まわれみぎをしました。

七・よむ

・読んで終わりにしましょう。

指音読